

The Japan Interior
Designers Association
Monthly Report
No.243
Jan, Feb, Mar, 2009

JID news

JID月報：通巻243号
平成21年1月・2月・3月号
発行日：平成21年3月31日

発行：(社)日本インテリアデザイナー協会
〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
電話 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559
発行人：酒井正人

社団法人日本インテリアデザイナー協会

目次

巻頭：公益法人制度改革とは？	公益法人制度改革について…………… 2	事務局からのお知らせ…………… 22
	平成20年度 第4回・第5回・臨時 理事会報告…………… 3	新会員紹介…………… 23
	本部報告（総務委員会）…………… 10	
	// （選考委員会）・他…………… 11	
	トップコラム／トピックス…………… 12	
	支部活動報告（関東事業支部）…………… 13	
	// （関西事業支部）…………… 15	
	// （中部事業支部）…………… 17	
	// （九州事業支部）…………… 18	
	JIDの新たな門出に（新・会員の声）…………… 19	
	創立50周年記念事業実行委員会報告／特別寄稿 20	

公益法人制度改革とは？

JID活動の「原点」を考えよう

「公益法人制度改革」について

セミナー報告と今後の対応

理事長 酒井 正人

公益法人制度改革とは？

昨年12月より「公益法人制度改革」の法改正が施行されました。

民間非営利部門活動の健全な発展を促進し、従来の主務官庁の許認可制度を廃止し、登記のみで法人を設立できる制度が創設されました。そして、「公益目的事業」を行うことを主たる目的とする法人は、民間有識者（内閣府／公益認定委員会）の審査により「公益法人」に認定する制度へ改正されました。

（公益法人制度改革の概要パンフレットより）

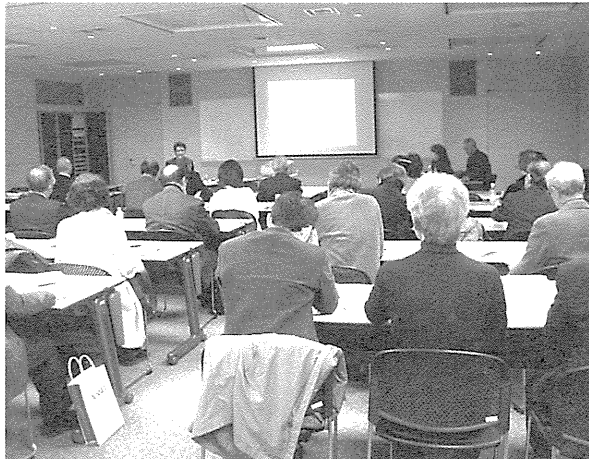
2/17開催「公益法人制度改革」セミナー&意見交換会
2月17日、17時から19時まで OZONE セミナールームにて、昨年12月より施行された「公益法人制度改革」に伴い、この法改正により、JIDは今後どのような組織

体制になるのか？を考える、第1回目のセミナーと意見交換会を開催しました。平日の夕方にもかかわらず44名の会員が集まり、法改正に伴うJIDの今後について、会員の皆様の関心の高さを伺える場となりました。

前半はJID顧問会計事務所である大沢洋子税理士事務所による「公益法人制度改革の概要」、「公益社団法人と一般社団法人のメリット・デメリット」や「法改正に伴う税務」についてのセミナーを行い、後半は、現在の状況説明やJIDの今後、公益性などについて、皆様との活発な意見交換を行いました。2時間という限られた時間のなかでは到底まとまるテーマではなく、継続してこのような意見交換の場を定期的につくっていきたいと思います。これから5年間のなかで、「公益社団法人」か「一般社団法人」の選択をし、JIDの組織の在り方を決定しなければなりません。
（以下、次頁へ）

「公益法人制度改革」 セミナー報告と今後の対応について

理事長 酒井 正人



第1回セミナーと意見交換会

「公益法人制度改革」の背景と状況

従来の公益法人制度は明治29年施行以来、1世紀以上が経ち、全国に約25,000の公益法人(社団・財団)があるそうです。今回の法改正により、主務官庁の許可主義が廃止され、全体の4分の3程度の法人が「一般社団・財団法人」へ移行されようとしています。民間の非営利部門などの社会貢献活動の発展を促進することが前提となっていることもあり、公益法人として認定される数は非常に少ないと予測されています。政府の行政改革の一環として決定された「公益法人制度改革」ですが、税制上の優遇見直し、天下り受け皿をなくすということも一つの理由にあるようです。

今年1月、経済産業省より「公益法人制度改革の状況について経産省内でもだいたい整理ができたので説明会と意見交換会を行いたい」との連絡がはいり、1月29日、D-8(日本デザイン団体協議会)の代表者が経済産業省に召集され説明会が行われました。JIDからは長岡・中田・峰尾・酒井の4名が参加し、説明会では主に以下のことが説明されました。

1. D-8のような職能団体が「公益社団法人」へ申請し、認可されることは相当難しく、なんらメリットが見いだせない
2. 現在、経済産業省の管轄団体のなかで「公益法人」認可の可能性があるのは、日本自転車振興会(競輪関連)と各種の安全性を検査することを主要業務とする法人で、たとえば、Gマークを扱う産業デザイン振興会のような団体でも公益法人認可は難しい

※トップページ つづき

3. 仮に「公益社団法人」に認可された場合、活動内容と財務について、行政庁による毎年のチェックがあり、合格しない場合は1ヶ月以内の財産没収となり、実質的に団体の存続ができず解散となってしまう、厳しいリスクが発生する
4. 公益法人として認可が難しい理由の一つとしては、D-8のようなデザイナー職能団体のこれまでの活動は、共益活動(会員のための支援・交流・発表・広報などの活動)にあたるものがほとんどで、今回の法律で定める公益性と認めることが難しい
5. 「一般社団法人」になっても経済産業省との関わりは、今までどおり継続される(監督官庁という立場ではなくなる)

JIDをはじめD-8のデザイン8団体は、どこも創立50年の時期を迎え、公益法人として長い年月を活動し確かな実績を残してきたと思います。この説明会が開催されるまでは、当然、D-8のどの団体もほぼ「公益社団法人」を目指すことで準備を進めようとしており、その矢先に、この厳しい条件の説明会の出来事がありました。D-8の各団体、そして、JIDにおいても、この状況をどのように捉え、今後の組織の在り方を考えるべきか、大きなテーマに取り組む状況にあります。

JIDの今後の対応と予定

この状況に対応し結論をだすために、「特別委員会」を設置致します。1年をめどに、対策の検討、最新情報の収集分析を行い、平行して前回セミナーに続く、全会員参加型の定期的な勉強会及び意見交換会を、今後6回程度開催したいと思います。また各事業支部においても同様の勉強会及び意見交換会が開催できますよう準備を進めております。JIDの全会員が「今後のJID組織の在り方」について考え、結論を出し、新たな組織の構築へ向かいたいと思いますので、皆様のご協力とご参加をどうぞよろしくお願い申し上げます。

●「公益法人制度の概要」パンフレットが内閣府ウェブサイトより入手できます

<http://www.gyokaku.go.jp/siryou/koueki/pamphlet.html>

「JID活動の原点を考える」ための資料として、ぜひご一読ください。

平成20年度 第4回理事会

日時：平成20年12月1日(月) 16:20～19:00

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE 会議室

出席：理事長 酒井正人

副理事長 阪井良種、(欠席)清家淳一

理事 安藤清、小野由記子、川崎泰秀、
佐藤健一、中田重克、村口峯子

(欠席) 安藤眞吾、長岡貞夫

監事 川上信二、(欠席)宇賀敏夫

事務局長 峰尾武

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

[2] 50周年実行委員会報告

[3] 平成20年度収支状況報告(10月末)

[4] 財務運営資金繰り(10月末)

1) 本部 2) 50周年特別会計

[5] 次回会議予定

[6] その他

II 議題

第1号議案 後援・協賛名義承認の件

第2号議案 会員入退会承認の件、会員異動状況

第3号議案 議事録署名人選任の件

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(村口)

1. 総務・組織委員会

パートナーズ、ACT関東等、PMB(プロジェクトメンバーバンク)を活用すべく、呼掛け集会は1月～2月に延期し、内容を検討早急にスケジュールを決定する。

2. 事業委員会

結城市プロジェクトは100万の予算に対し、空店舗ギャラリーの企画は150万の見積もりである。協賛企業等様々なアドバイスをを行うが現在動きなし。

3. 広報委員会

6月～10月はJID50周年記念出版作業に参加した。HP関係は3ヶ月間で更新3件、新設3件あり。今後の作業として、賛助会員ページ(65社)作成、各社オリジナルHPリンク枠予定、基本的に無料、バナー広告は有料の予定。その他委員会ページ作成及びプロジェクト進捗状況等各委員会のコンテンツ。

4. 国際・交流委員会

JID50周年企画”四方山話”JID創立当時のデザイナーを実施。

5. 研究委員会

メディカルプロジェクトの正式名「Rooms for Care」11月14日委員会実施。

6. その他

PMBの内容分析・会員はいずれかの委員会に属する・委員会数を減らす・HPの活用等今後の課題を検討する。

◆中部事業支部(安藤清)

1. 新中部事業支部事務局を下記に移行。

〒465-0053 名古屋市名東区極楽3-198

(株)フォーラム内 TEL 052-705-3002

2. 10月14日～24日 ナゴヤデザインウィーク、学生ディスプレイコンペ・ライブマーケット他。

3. 10月22日 ユネスコデザイン都市認定(神戸市共)世界3大デザイン会議開催評価。

4. 10月14日 10月度役員会・連絡会実施JID50周年中部名誉会員を囲む会を酒井理事長参加で実施。

5. 10月17日 CCDO中部デザイン団体協議会20周年事業記念セミナー・記念誌出版パーティ実施。

6. 10月31日 第20回インテリアデザイン連絡会実施。

7. 11月11日 11月度役員会・連絡会実施。

今後の予定

1. 12月9日 12月度役員会・連絡会予定。

2. 12月15日 第21回インテリアデザイン連絡会予定

3. 1月13日 50周年中間報告会予定。

4. 1月～2月 JID中部学生賞授与予定。

◆関西事業支部(安藤眞吾)

1. 総務・広報委員会

10月21日(火) 第4回支部運営委員会開催、10月末e-ECHO第35号アップ『フィンランドツアー』特集号。

2. 事業委員会

9月30日(火) 「JID-Kansai in 心斎橋③」開催、
テーマ:フィンランドツアー報告会(アップルストア心斎橋)
10月28日(火) 「JID-Kansai in 心斎橋④」開催、
テーマ:「JID創立50周年記念式典、ハンドド・ローイング展」報告会(アップルストア心斎橋)

3. 研究委員会

「セカンドライフの住まい」アンケート集計結果完了、報告書を関西会員及びアンケート協力者に配布、併せてe-ECHO第35号にPDFでのダウンロード可能とした。

4. JID-ACT kansai

毎月火曜日 定例会議開催、10月12日・13日 佐川美術館見学会実施。

今後の予定

1. 総務・広報委員会

12月4日(木) 支部運営委員会開催予定。

2. 事業委員会

11月25日(火)「JID-Kansai in心斎橋⑤」

テーマ:「インテリアCGパース」開催予定。

12月12日～19日「日本の空間デザイン2008」+「学生作品賞」、12月19日 ファイナルパーティ、「学生賞作品」表彰及び「JID創立50周年報告会」開催予定。

3. 国際委員会

国際委員会開催予定(英国インテリア企業とのコラボ等)。

4. 研究委員会

「セカンドライフの住まい」提案展覧会(仮称) 予定。

5. JID-ACT kansai

毎月第2火曜日 定例会議開催予定。

◆九州事業支部(川崎)

1. 9月19日(金) 大川インテリア産業振興センター主催「第23回高等学校インテリアデザイン展」、審査委員長 山永耕平、審査員 飯田一博。

2. 10月10日(金) 大川インテリア産業振興センター主催「華胥の夢博2008コンテスト」審査、審査委員長 山永耕平、審査員 飯田一博。

3. 9月 JID50周年記念事業九州巡回展開催のため福岡県立美術館と交渉。

4. 10月11日(土) 第4回役員会開催。

熊本の50周年企画展、JIDデザイナーズトークツアー“円座 in 九州”、50周年九州巡回展等検討。

5. 10月24日(金) 50周年記念シンポジウム・式典・パーティ参加。正会員4名、賛助会員4名参加及び25日ハンドローイング展見学。

6. 11月14日(金) “円座 in 九州”歴史に座る part.4 最終打合せ。

7. 11月22日(土)～12月21日(日) 歴史に座る part.4展—英国ウインザーチェア—の世界—開催。

8. 11月28日(金)～29日(土) JIDデザイナーズトークツアー“円座 in 九州”実施、28日(金) 講演会「日本の伝統工芸とウインザーチェアの融合」講師 岩倉榮利で実施。

今後の予定

1. 21年1月19日(月)～1月22日(木) 第4回学生ファニチャーデザインコンテストを予定。

◆本部総務委員会(中田、佐藤、川崎)

委員会開催、9月16日、11月18日

報告事項は基本的に前回理事会報告に同じ。

1. 会員拡大について50周年の機会に入会のメリットを謳ったチラシA4を作成イベント等で配布。

2. 新入会員入会後スムーズにJID活動に参加でき協会活動を円滑に始めることが出来るシステムの構築が必要、今後改革検討委員会・4支部と連携、取組を考える。

3. ビジネスパートナーズ充実・強化プロジェクトとして「JID

サポーター110社アンケート」実施予定。

4. JIDリーフレット改訂について川崎理事より見積もり金額の報告があり、35万～40万円程度見込まれる、来年度予算化。

5. D-8第1回デザイン保護委員会8月4日がJIDA事務局ギャラリーで開催され秋山委員出席、その報告を受けた、その中で(社)デザイン保護協会の創作デザイン寄託制度が存続となったとの報告があった。

◆本部国際委員会(小野)

1. 11月12日、スイス大使館とスイスデザイン・ディーの開催検討の会合を持つ。

出席者:スイス大使館スイス・ビジネス・ハブ 今井知子氏、JIPAT国際委員 佐藤勉氏、田中博美氏、スイス人デザイナー Mr WILLI GLAESER

コーディネーター:メグミ・メルロー氏、安宏太郎氏、JID 小野由記子理事、大森清次郎委員長、森美香子副委員長

今後の予定

1. 本部国際委員会の開催(2009年1月予定)。

2. 本部・支部の国際委員の交流検討。

◆本部広報委員会 インターネット

(安藤眞吾、村口、安藤清、川崎) 鳥井貴正委員長出席

1. 9月16日「50周年広報委員会」の会議に参加。

2. ホームページTOPに「50周年事業特集」ページへのジャンプボタン追加。

3. 50周年記念事業、意見広告「環境を考える」を掲載。

4. 50周年記念事業、デザイン学校「デザイナーズトークツアー“円座 in 山形” 報告記」掲載。

5. 50周年記念事業、展覧会「発想の原点“こころ”を巡るハンドローイング展」を掲載。

6. 50周年記念事業、出版「日本デザイン50年」を掲載。

7. 50周年記念事業、シンポジウム「原点」こころのデザインを掲載。

今後の予定

1. ホームページのイメージ刷新、TOPデザインを更新、4半期に1回程度の更新を考える(イメージデザイン提示了承を得る)、その他賛助会員のバナー広告及びカテゴリー別掲載等検討。

2. 英文ページの内容充実及び支部ページとの連携推進等継続。

3. 本部メールサーバーのメンテナンス業務について検討継続。

◆本部広報委員会 JID News

(安藤眞吾、村口、安藤清、川崎)

1. JID News 241号 9月末発行 650部印刷。

2. 今後の予定

JID News 242号「50th 特集号」12月初旬発行。

内容:理事長コラム、理事会議事録、JID50各委員会

総括、本部委員会活動報告、支部活動報告、事務局報告他(650部)。

今後の予定

JID News 243号:2月3日(火) 編集企画会議とエントリーお知らせ、2月10日 原稿エントリー締切り、2月28日 原稿締切り(一次)、3月3日 原稿締切り(二次)、3月17日 編集(校正)会議、3月31日 発行予定。

◆選考委員会(長岡)

1. 特別審査員決定、デザイナー原研哉氏(日本デザインセンター、原デザイン事務所)、専門誌記者下川一哉氏(日経BP社、日経デザイン編集長)。
一般誌記者は審査員依頼が極めて難しく、記事として取り上げられる可能性も低いいため見送り、特別審査員は酒井理事長を加え3名体制とした。
2. 応募要項・ポスターのデザイナーを決定、デザイナー上条喬久氏(上条デザイン)。
3. A2ポスター・応募要項(裏表)+封筒(1500部)。
4. ポスターデザインについては、JID創立50周年記念をふまえ「これからの50年」「未来に繋がるデザイン」をイメージにしていると説明、表現は上条氏に一任。
5. 2010年 JID賞ビエンナーレのスケジュールは、2009年1月に応募要項発送、5月～6月 応募受付、8月～10月 1次・2次審査、10月～11月 最終審査、2010年1月 JID賞展・贈賞式予定。

◆改革検討委員会(清家、阪井、長岡)

1. 役員選挙制度の改革につて、推薦制度を改め、推薦者は被推薦者の承諾を得ることを条件とし6名以内の推薦と推薦文を提示するとして条文改正と理事会及び総会の承認を得る。

[2] 50周年実行委員会(川上玲子)

1. 各委員会の終了状況及び継続中の事業について報告。

[3] 平成20年度収支状況報告(10月末)

事務局長より平成20年度10月末収支状況について説明。

[4] 財務運営資金繰り(10月末)

1. 本部 10月末の状況について事務局長より説明。
2. 50周年特別会計 10月末状況について事務局長より説明。

[5] 次回会議予定

平成20年度第5回理事会

平成21年1月16日(金) 15:30～17:45

[6] その他

50周年記念出版及び展覧会に関する会員よりの理事長あて質問については50周年実行委員会の見解を基

に理事会の了解を得て理事長が回答することとした。

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれを了承した。

II 議題

◆第1号議案 後援・協賛名義承認の件(6件)

- 『第67回 東京インターナショナル・ギフト・ショー 春 2009』
協賛・継続
 - 『第41回 大阪インターナショナル・ギフト・ショー 春 2009』
協賛・継続
 - 『第5回 グルメ&ダイニングスタイルショー 春 2009』
協賛・継続
 - 『サステナブルデザイン国際会議 2008
“Destination 2024”』
後援・継続
 - 『建築工事標準仕様書・同解説 JASS9 張り石工事』
改定講習会
後援・新規
 - 『アジアデザインネットワーク会議2008』
後援・継続
- 以上につき議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第2号議案 会員入退会承認の件(8件)

- 賛助会員 入会(2件)
株式会社ソーケン(関東)
推薦人:木村戦太郎、小野由記子
ITEA株式会社(関東) 推薦人:星富士子、酒井正人
 - 正会員 入会(4件)
藤井真哉(関東) 推薦人:中田重克、峰尾武
白河部勝美(関東) 推薦人:吉良ヒロノブ、山岸柊史
水澤結花(関東) 推薦人:中田重克、峰尾武
小久保典子(関東) 推薦人:日方一城、安竹麻智
 - 正会員 退会(1件)
1171 籠田淳子(九州)
 - 正会員 退会(1件)
以下、定款第8条2項(4)により退会したものとみなす。
1096 松尾昭久(九州)
- 以上につき議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第3号議案 議事録署名人選任の件

議長は中田重克理事、阪井良種副理事長の承認を諮り、異議なく承認された。

社団法人日本インテリデザイナー協会 平成20年度第4回理事会に関し、定款第26条に基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 酒井 正人

議事録署名人 中田 重克、阪井 良種

平成20年度 第5回理事会

日時：平成 21 年 1 月 16 日(金) 15:15～13:00

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE 会議室

出席：理事長 酒井正人

副理事長 阪井良種、清家淳一

理事 安藤清、小野由記子、佐藤健一、
長岡貞夫、中田重克、村口峯子

(欠席) 安藤眞吾、川崎泰秀

監事 宇賀敏夫、川上信二

事務局長 峰尾武

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

[2] 平成 20 年度収支状況報告(11月末)

[3] 財務運営資金繰り(12月末)

1) 本部 2) 50周年特別会計

[4] 次回会議予定

II 議題

第1号議案 役員選挙規定改定の件

第2号議案 後援・協賛名義承認の件

第3号議案 会員入退会承認の件、会員異動状況

第4号議案 議事録署名人名選任の件

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(村口)

1. 総務・組織委員会

新規プロジェクト(仮)「異業種コラボトーク」「関東支部会員呼びかけ集会」等でゼロからスタートラインに立ち、新たな組織を構築しJID事業活動への参加を促す。
又1月16日に新入正・賛助会員への委員会のオリエンテーションを予定。

2. 事業委員会

結城市プロジェクトは現在動きなし。来期事業はデザイン啓蒙として下町プロジェクト、人、まち、塾及び子供のデザイン探検等検討。

3. 広報委員会

今期活動は50周年に移行して活動、記念出版の編集作業バックアップとHPの会員ページ更新実施。
来期はHPコンテンツ構築(賛助会員ページ作成、広告バナーの設置、活動Now、ライブラリー、公益法人コンテンツ)等検討。

4. 国際・交流委員会

JID50周年企画「四方山話」JID創立当時のデザイナーを実施、今後資料のまとめを実施予定。国際交流

活動は今後検討。

5. 研究委員会

メディカルプロジェクトの正式名「Rooms for Care」は長岡委員長より独立提案があり今後継続検討。

6. その他

公益法人改革について役員会にて概要説明があったが、今後資料等整備会員に告知、検討に移す。

◆中部事業支部(安藤清)

1. 12月9日 12月度役員会・連絡会実施。

2. 12月10日・11日「中部のデザイナーによる大展覧会」27thサインショップ&ディスプレイショー2009共催、デザインメッセ名古屋の目玉展示CCDO16デザイン団体109名参加。

3. 12月15日 第12回インテリアデザイン連絡会開催、リレーセミナー講師・他。

4. 1月13日 JID50周年中間報告会中部実施。

今後の予定

1. 1月～2月 JID中部学生賞授与(7校各1名)。

2. 1月15日 愛知健康長寿産業クラスター形成事業(病院、福祉施設ロビーチェアの現状と研究ニーズを基にしたデザイン開発・他発表、点字プリンター作成ソフト・特養施設現状と福祉用具要望・高齢者の色彩)。

3. 1月23日 インテリア産業協会新春会員情報交流会予定。

4. 1月26日 第22回インテリアデザイン連絡会予定。

5. 2月10日 2月度役員会・連絡会予定。

6. 3月6日・10日 3月度役員会・連絡会予定。

◆関西事業支部(清家)

1. 総務・広報委員会

12月4日(木) 第5回支部運営委員会開催、1月8日(木) 平成21年度事業支部予算会議開催本部へ提出。

2. 国際委員会

12月16日(火) 国際委員会開催(実施プロジェクトの検討)。

3. 事業委員会

12月12日～19日「日本の空間デザイン2008」+「学生作品賞」。12月19日 ファイナルパーティ「学生作品賞」表彰+「JID創立50周年報告会」開催。

4. 研究委員会

11月25日(火) 研究委員会開催、「セカンドライフの住まい」提案展覧会(仮称)について討議。

5. JID-ACT kansai 12月9日(火) 定例会議開催。

今後の予定

1. 総務・広報委員会

2月19日(木) 第6回支部運営委員会開催予定。

2. 国際委員会

2月3日(火) 本部との合同国際委員会開催予定。

3. 中四国交流委員会

1月19日(土)「中国・四国インテリアデザイン交流会」開催予定(住宅デザイン研究所)。

4. 研究委員会

「セカンドライフの住まい」提案展覧会(仮称)を具体化に向けての検討。

5. JID ACT-kansai 2月3日(火) 定例会議開催予定。

◆九州事業支部(文書にて)

1. 11月22日(土)～12月21日(日)「歴史に座るpart.4展」共催—英国ウインザーチェアーの世界—開催。

2. 11月28日(金)～29日(土) JIDデザイナーズトークツアー“円座 in 九州”開催「原点心のデザインを語り合おう」

1)(28日)茅乃舎(食事)、博多湾人口島“グリーングリーン”(伊東豊雄の話題作)見学、九州産業大学美術館・JID共催「歴史に座る」英国ウインザーチェアーの世界展見学後希望者は海の中道志賀島金印のコースへ、その後15:30～17:00講演会「日本の伝統工芸とウインザーチェアーの融合」講師岩倉榮利を実施60名参加。17:00～18:00体験デザイン学校、デザイン学科工房にて学生諸君とウインザーチェアーの制作体験実施、円座博多交流会を稚加栄にて22名参加実施。

2)(29日)櫛田神社をめぐり(株)アダル工場見学、大宰府から九州国立博物館、大宰府天満宮、大宰府政庁跡等を見学。

3. 1月19日(月)～23日(金) 第7回「座る形展」学生が提案する新しい座る形—九州産業大学美術館ギャラリー—開催予定(参加校、九州産業大学芸術学部・九州造形短期大学・近畿大学建築デザイン学部・九州大学芸術工学部)

4. 1月23日(金)「第4回学生ファニチャーデザインコンテスト」を開催予定、JID九州事業支部正会員・賛助会員が審査。

5. 1月23日(金) JID50周年記念事業中間報告会開催予定。

◆本部総務委員会(中田、佐藤、川崎)

委員会開催、12月20日

1. 会員拡大についてチラシA4版を作成イベント等で配布と支部にも送付、配布をお願い。

2. ビジネスパートナーズ充実・強化プロジェクトとして「JIDサポーター110社アンケート」実施(JID News 242号に同封)、アンケート回収結果、調査レポートは3月末予定。

4. JIDリーフレット改訂について委員会内チームで制作にかかる、再度見積金額及び具体案検討。

5. 2009年NEW YEAR'S PARTYを1月16日(金)18:30～20:30パークタワーB1F「カフェーズ」で開催予定。

◆本部国際委員会(小野)

1. 留学生を対象にしたワークショップ開催の検討(江戸川区の伝統工芸体験プログラム等)。

2. 12月初旬 各事業支部との交流について検討実施

12月中旬 21年度活動予算を提出。

今後の予定

1. 21年1月 委員会開催予定。

2. 2月3日 本部・支部の国際委員の交流会。

◆本部広報委員会 インターネット

(安藤眞吾、村口、安藤清、川崎)

1. ホームページ全体の画像イメージを刷新。

2. 50周年記念事業中間報告を更新。

3. 50周年記念事業 第5回こども学校「放課後の家」実施報告掲載。

4. 12月10日 JAGDA(日本グラフィックデザイナー協会)のイントラネットとの提携について意見交換。

5. 本部メールサーバーについて今後変更するか検討。

今後の予定

1. JAGDAのイントラネットとの提携について検討。

2. 英文ページの内容充実及び支部ページとの連携推進等継続。

3. 本部メールサーバーのメンテナンス業務について検討継続。

◆本部広報委員会 JID News

(安藤眞吾、村口、安藤清、川崎)

1. JID News 242号 12月末発行済み(内容:理事長コラム、理事会議事録、JID50周年各委員会総括、本部委員会・支部事業報告他)。

今後の予定

1. JID News 243号:2月3日(火) 編集企画会議とエントリーお知らせ、2月10日 原稿エントリー締切り、2月28日 原稿締切り(一次)、3月3日 原稿締切り(二次)、3月17日 編集(校正)会議、3月31日 発行予定。

◆選考委員会(長岡)

1. 2010年JID賞ビエンナーレのスケジュールは、2009年2月に応募要項発送、5月～6月 応募受付、7月～8月 1次審査・8月～10月 2次審査(現地調査)、10月～11月 最終審査(プロダクトは現物)。10月～11月 賞楯、入賞作品リーフレットのデザイン検討制作。

2. 2010年1月 JID賞展・贈賞式予定。

3. 特別審査員、デザイナー原研哉氏(日本デザインセンター、原デザイン事務所)、下川一哉氏(日経BP社、日経デザイン編集長)、酒井正人(JID理事長)。

◆改革検討委員会(清家、阪井、長岡)

1. 選挙制度改革

役員選挙における推薦制度の一部改定を決定、変更条文案は第1号議案の通り。

◇公益法人改革について

酒井理事長より公益法人改革について1月14日に行われたJID顧問税理士事務所(大沢洋子税理士事務所)主催の公益法人改革説明会の状況を報告、討議した結果、尚周辺の情報を収集するとともに、会員への

のためJID顧問大澤洋子税理士事務所を招き説明会を2月17日(水)17:00～19:00に東京にて実施することを決定した。又地方支部にて出席の出来ない会員には支部担当役員より各支部で適宜説明会を行うこととした。

[3] 平成20年度収支状況報告(11月末)
事務局長より平成20年度11月末収支状況について説明。

[4] 財務運営資金繰り(12月末)
1. 本部12月末の状況について事務局長より説明。
2. 50周年特別会計12月末状況について事務局長より説明。

[5] 次回会議予定
平成20年度 第6回理事会
平成21年3月27日(金)16:15～18:00

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれ了承した。

II 議題

◆第1号議案 役員選挙規定改定に関する件
役員選挙における当選者の役員就任辞退をさけるため役員選挙規定第4条の改定を行う。

＜改定案＞

現行：第4条

選挙管理委員会は選挙の日程を定め、会員に公示し、選挙についての意見(推薦候補、立候補意思表示などを含む)を求める。意見は文章の長さを限定し、記名とする。

2. 締切日までに到着した記名意見は、受信日順に整理し選挙公報に掲載する。ただし立候補者についてはその旨明記し、被推薦者名のある推薦意見については、被推薦者の諾否を明示する。無記名の意見は掲載しない。

改定案：第4条

選挙管理委員会は選挙の日程を定め、会員に公示し、選挙についての意見(推薦候補、立候補意思表示などを含む)を求める。

2. 立候補者は立候補意見を表明する。

3. 推薦候補者を推薦する場合は、推薦者は、被推薦者より承諾を得て推薦する。

4. 無記名の意見は掲載しない。

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第2号議案 後援・協賛名義承認の件(2件)
●『JCD/DAIKO 連続デザインシンポジウム』後援・継続
●『建築家 坂倉準三 展』後援・新規

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第3号議案 会員入退会承認の件(8件)

●正会員 入会(2件)

尾崎めぐみ(関東) 推薦人:道明美千代、井出昭子
岩下純(関東) 推薦人:鳥井貴正、峰尾武

●正会員 退会(3件)

1091 長部由美子(関東) 0653 杉山義雄(関東)

1199 高見澤愛子(関東)

●賛助会員 退会(1件)

3063 立川ブラインド株式会社(関東)

●正会員 退会(2件)

以下定款第8条2項(4)により退会したものとみなす。

山本英嗣(関東) 福間敏彦(関東)

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第4号議案 議事録署名人選任の件

議長は長岡貞夫理事、清家淳一副理事長の承認を諮り、異議なく承認された。

社団法人日本インテリデザイナー協会 平成20年度第5回理事会に関し、定款第26条に基づき、議事経過及び議決事項を記するため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 酒井 正人

議事録署名人 長岡 貞夫、清家 淳一

平成20年度 臨時理事会

日時：平成21年2月17日(火)13:00～16:30

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE セミナールームA

出席：理事長 酒井正人

副理事長 阪井良種、清家淳一

理事 安藤清、安藤眞吾、小野由記子、
川崎泰秀、佐藤健一、長岡貞夫、
中田重克、村口峯子

顧問 川上玲子

監事 川上信二、宇賀敏夫

事務局長 峰尾武

I 報告事項

[1] 平成21年度予算編成について

[2] 財務運営資金繰り(21年1月末)

1) 本部 2) 50周年特別会計

[3] 50周年記念事業室内デザイン学校たばこ産業助成金事業について

[4] 本部各委員会事業推進状況(特筆事項のみ)

[5] その他

II 議題

第1号議案 後援・協賛名義承認の件

第2号議案 会員入退会承認の件、会員異動状況

第3号議案 議事録署名人選任の件

I 報告事項

[1] 平成21年度予算編成について

平成21年度予算案について事務局長より各事業支部・本部各委員会・管理費等について再提出された内容について報告、現状では収支赤字の幅が大きいと報告、再度正副理事長、総務、改革でつめることとした。

尚、本日の理事会における賛助会員の退会が多く、予算編成上大きく影響する旨報告。

[2] 財務運営資金繰り(21年1月末)

財務運営資金繰りについて事務局長より報告、本部運営資金については厳しい状況にある。

50周年記念事業に関する資金繰りについては順調に推移しており、本部よりの初期運営資金については本部に繰り入れることが出来そうであると報告。

[3] 50周年記念事業室内デザイン学校たばこ産業助成金事業について

50周年記念事業の室内デザイン学校委員会のデザイン教育事業に関し、たばこ産業助成金申請については現在の50周年事業の範囲内にあるが、来年度にずれ込むことが予測されることに関し50周年実行委員会に正式に報告、認定を経て予算措置を講ずる必要があり、実行委員会の正式決定をうけて関東事業支部内に予算化する。

尚、その場合関東事業支部に対してJID負担分金額については本部よりの交付金に上乗せすることが望ましい。その資金の出所は50周年記念事業からの本部への繰越金を充当することも検討の余地がある。

[4] 本部各委員会事業推進状況(特筆事項のみ)

◆本部総務委員会(中田、佐藤、川崎)

1. JIDパンフレットに関してはA3二つ折りとし、変更のある内容についてはその都度挿入する方法で、事務局等にて印刷可能なものとし印刷費の節減を図る。

尚、新規印刷物等に関しては相見積りを原則とする。

JIDパートナーズは本部のものである。

2. 賛助会員におけるJIDロゴマーク使用希望について
賛助会員よりの印刷物等(名刺等)についてJIDロゴマークの使用については基本的には容認するが、ど

の様に使用するかの案を提出依頼し、それを見て認可することとする。

◆本部国際委員会(小野)

IFI総会について、シンガポールが辞退を表明、代わってドバイがエントリーを表明しているが未決定である。

留学生についてのデザイン関連行事に関しては本部国際で企画、支部事業で実施。

Meet the Worldについては収入を入れ支部との共同企画とする。

その他、ポルトガル政府文化庁関係からのインターシップの依頼があり、詳細を問い合わせ中。

◆本部広報委員会 インターネット

(安藤眞吾、村口、安藤清、川崎)

1. IFIとのリンクを検討する。

2. 事務局パソコンのトラブルについて一応処理しているが、長期的にはサーバーを変える等大幅な変更が必要であるが、現状では予算上不可能で検討継続とする。又プライオリティがNO.1であれば投資を考える。

3. JAGDA(日本グラフィックデザイナー協会)からイントラネットについての話があり、検討協議を継続。

◆本部広報委員会 JID News

(安藤眞吾、村口、安藤清、川崎)

1. 21年度予算削減に伴いページ数を減らし、記事の内容を考え企業紹介等経費を得ることも検討、又場合により理事会報告等は簡潔にするか事務局印刷等も検討。

[5] その他

1. 次期20年度最終理事会(第6回)の時間確認
平成21年3月27日(金)

13:00~14:30 改革検討委員会

14:45~16:00 50周年実行委員会

16:15~18:00 第6回理事会

2. 第41回通常総会 当日スケジュール(予定)について
平成21年5月29日(金)

10:30~12:00 改革検討委員会

13:30~15:00 21年度第1回理事会

15:30~17:00 第41回通常総会

17:15~18:15 関東事業支部第16回総会

18:30~20:30 通常総会懇親会

3. 公益法人改革説明会実施

臨時理事会終了後公益法人説明会を行うが、進行スケジュール及び内容について大澤洋子税理士事務所(JID顧問税理士事務所)と打合せ。

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれ了承した。

II 議題

◆第1号議案 後援・協賛名義承認の件(2件)

●『創っ展2009 — ATC関西学生卒業作品展』

後援・継続

●『てつそん2009』

後援・継続

以上につき議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第2号議案 会員入退会承認の件(16件)

●賛助会員 入会(2件)

株式会社マルニ木工(関西) 推薦人:菅野民子

株式会社呼応(関東) 推薦人:事務局

●正会員 退会(5件)

1262 松田綾子(関東) 1281 檜山和彦(関西)

1247 藤井昌男(関東) 1235 榎本文夫(関東)

1244 山川富喜子(関東)

●賛助会員 退会(8件)

3194 株式会社丹創社(九州)

3180 日本フィスバ株式会社(関東)

3202 株式会社遠藤照明(関西)

3192 株式会社モーブル(九州)

3059 高島屋スペースクリエイツ株式会社(関東)

3198 株式会社中央リアルプラス(関東)

3130 株式会社大和金属製作所(関西)

3191 株式会社藤栄(中部)

●賛助会員 退会処理(1件) 倒産の為

3034 株式会社コスガ(関東)

以上につき議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第3号議案 議事録署名人選任の件

議長は安藤清、安藤眞吾両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

社団法人日本インテリデザイナー協会 平成20年度臨時理事会に関し、定款第26条に基づき、議事経過及び議決事項を記するため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 酒井 正人

議事録署名人 安藤 清、安藤 眞吾

本部報告

総務委員会

担当理事:中田 重克

委員長:井出 昭子

2009 New Years Partyのご報告

本部総務委員会 委員長 井出 昭子

JID 2009 New Years Party は、2009 年 1 月 16 日(金) 18 時 30 分より新宿パークタワー「カフェーズ」で開催されました。酒井理事長の開会挨拶に始まり、ご来賓代表として(社)日本インダストリアルデザイナー協会、浅香嵩理事長のご挨拶。(株)リビングデザインセンター、若宮直行代表取締役社長の乾杯によって、新春を祝う懇親の宴が始まりました。

ご来賓ご紹介のあと、JID 創立 50 周年記念事業の経過報告および多大なご協力に感謝の辞を川上実行委員長が述べられ、又 3 月の“円座 in 浅草”などの案内が小野上委員より行われました。

新入会員、新入賛助会員のご紹介に続き、参加賛助会員のご紹介、賛助会員カタログ配付のご案内など楽しく有意義な New Years Party となりました。

ご来賓含め総勢 93 名の参加があり、阪井副理事長の開会挨拶をもって盛会の幕を閉じました。

ご多忙の中、大勢の皆様にご参加を頂き誠に有り難うございました。また本部総務委員の皆さんには設営準備、司会等お疲れ様でした。お礼申し上げます。



本部報告

選考委員会

担当理事：長岡 貞夫
委員長：木村 戦太郎

2010年 JID賞ビエンナーレの応募要項が完成!

選考委員会 委員長 木村 戦太郎

2010年 JID 賞ビエンナーレのポスター・応募要項が完成しました。応募期間は5月～6月で、間もなくお手元に届くと思いますので、ご応募または周囲の方々への周知を宜しくお願いします。



応募要項のデザインは、厳しい予算の中でデザイナーの上條喬久氏にお引受け頂け素晴らしい仕上がりとなりました。デザインの特徴は、キャンバス地に描いたカラフルなキューブに数字が記載され、ビエンナーレの年度と空間が表現されていること、さらに、四つ折りにしてクリアな封筒に入れる事を考慮し、手に取った時に内容が目視出来るように配慮されています。裏面の応募要項も折り目に文字やグラフィックが重ならないように配置され、余白を生かした美しいデザインになっています。これらは、郵便物の多い昨今、受け取った人が興味を持って手に取り、思わず開封して中を見たくなる様なデザインにすべきだという上條氏の考えによるものです。

そして、特別審査員には当協会理事長の他に、日経

デザイン編集長の下川一哉氏、幅広い領域でご活躍のグラフィックデザイナー原研哉氏にお願いできました。

JID 賞もビエンナーレ方式にして今回が3回目、これまで順調に応募者を増やしてきており、応募内容も毎回優れた作品に恵まれて来ました。先日放映されたNHK「トップランナー」では、過去2回受賞のトネリコが登場し、JID 賞ビエンナーレで受賞したことを語ってくれています。

選考委員会では素晴らしい応募要項を得て、前回以上の応募者にご参加頂きたいと考え、デザイン誌やウェブサイトなど様々な場で広報を展開しようとしていますが、それを確かなものにする為には、会員各位のご協力が不可欠です。冒頭でもお願いしましたが、応募者拡大にご協力頂きたく、宜しくお願い致します。

緊急報告

財団法人国際デザイン交流協会解散のお知らせ
副理事長 清家 淳一

昭和56年設立以来関西から、全国へ！世界へ！発信し続けて来た「財団法人国際デザイン交流協会」は、これまでデザイン振興に関わる事業を実施して来ましたが、国レベル、地方レベルにおいて行財政改革が具体化し、資金面で打ち切られることとなり、やむなく3月末日をもって解散することが決定した、との報告がありましたのでお知らせいたします。

最新の活動状況

1. 国際デザイン・ビジネス活用支援事業
2. デザインストラテジーフォーラム
3. ストーム・コンソーシアム事業
4. アジア太平洋諸国・地域とのデザイン交流事業
5. 情報収集・調査研究事業
6. 広報事業

協会の説明は、「これまで展開してきた事業により公的な観点でのデザインを通じた国際交流、産業文化の健全な発展に一定の役割を果し終えたと判断し解散する事にする。」と締めくくっていますが、本当はこの時代だから「デザインを通じた国際交流、産業文化」の重要な時代であると思います。しかし、数年後にはまた若い芽が誕生することに期待し努力したいものです。



理事長
酒井 正人

2月18日の午後、世田谷の池之上小学校で行われた、「こども学校～放課後の家・インテリアを考える」の完成披露パーティーに参加しました。

※本誌20頁参照

地元 NPO 活動の方々とともに、JID50 周年・室内デザイン学校委員会が実施してきたプロジェクトです。

参加した子供達が考えた「放課後の家」の模型とともに、実際に体感できるスケールで造られた「放課後の家」が教室の中に実現されていました。その家の外壁には、家の中から見えるだろうと想像した空や虹などの景色がペイントされており、とてもユニークで子供達の夢と希望

を感じるものでした。

子供達は、JIDメンバーの指導により自分たちの手で設えたその家のインテリア空間に入りこみ、まるで自分たちの秘密基地を手に入れたような笑顔と賑やかな会話が窓からもれ、教室中にその楽しさと夢が広がっていました。将来もし子供達がインテリアデザイナーや建築家になりたいと考えたとき、あるいは、自分の家を持つと考えた時、この時の体験はきっとそのきっかけとなり役に立つことでしょう。

住環境の未来のためにも子供達へのデザイン教育はあらためて大切だと感じるとともに、JID 活動の新たな可能性を感じる一時でした。

プロジェクトに携わった室内デザイン学校委員会の皆様、ほうとうにお疲れ様でした。

そして素敵な時間をありがとうございました。

このコラムについてご意見や感想などぜひお聞かせ下さい。 head@jid.or.jp

トピックス

DESIGNER'S SHOW HOUSE IN YOKOHAMA

関西事業支部 石川 安江

全米で行われている地域コミュニティ活動を中心としたデザイン・チャリティイベント「デザイナーズショーハウス」が2月27日から3月4日まで横浜で開催されました。

IFDA 日本支部は団体デザイナーとして参加し、著名アメリカ人デザイナーにも呼びかけ参加してもらうなど全面

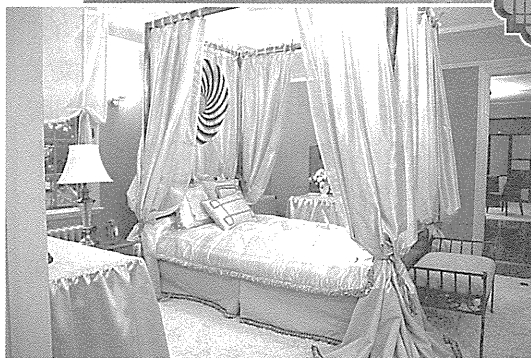
的な応援をいたしました。

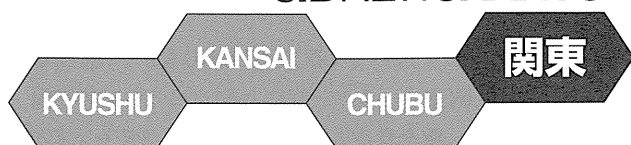
横浜市の歴史的建造物であるベーリック・ホール館内のお部屋を「ベーリック氏の素顔に迫る」～ベーリック氏のライフスタイルに思いを馳せて～をテーマに、各デザイナーのイマジネーションにより、『インテリア・ライフスタイル空間』をデザインしました。

◆IFDAは米国のインターナショナル・ファニシング&デザイン・アソシエーションの略称。日本支部は2009年1月に正式発足いたしました。URL:<http://www.ifdajapan>



BERRICK HALL
旧ベーリック邸





20年度から21年度の活動について

関東事業支部 支部長 日方 一城

JID50 周年記念の出版、展覧会、シンポジウム・式典、学校の実行委員会に参加をした JID・関東事業支部の各会員は、それぞれの事業企画が成功し、幕を閉じようとしています。JID 会員の皆様方のご協力感謝しております。

これからの関東事業支部の各委員会委員・プロジェクトメンバーは、再びより活発な会員活動、外部への啓蒙活動を目指し動き出そうとしておりますので、皆様方のご協力よろしくをお願いいたします。

■関東事業支部 総務・組織委員会 報告

総務・組織委員会 副委員長 池田 和修

JID50 周年記念事業を終え、次年度は、より一層の関東支部活動活性化の為各委員会と協力しながら、様々な企画を検討 実施していきたいと思っております。

異業種との交流や、美術・音楽・照明・味覚・香り、様々な感覚をテーマにしたセミナー等、趣向を凝らした内容で興味ある楽しいものとし、正会員・賛助会員・アクトメンバーが相互に交流でき且つ公益的な企画を検討してまいります。

■関東事業支部 事業委員会

2009年度事業計画ならびに委員の紹介

事業委員会 委員長 萩原 多恵子

2009 年度事業委員会の年度計画について

2009 年度は、昨年までの事業活動を見直し、JID デザイン活動の啓蒙・会員相互のスキルアップを目指し、地域社会に根ざしたデザイン活動のあり方の検証と実践への取り組みとして、以下の 2 つのプロジェクトを進めてゆく。

1：下町プロジェクト(仮称)

下町に脈々と伝わる伝統工芸や地場産業のモノ作り技術、下町住人の活動やまちづくりの仕組・地産地消に目を向け、地元産業者との協働を目指した活動として、
・伝統工芸・地場産業・下町のまちづくり等のリサーチ
・地場産業とのコラボレーションの事例研究
・物作り達人マップ(仮)、物作り系譜(仮)等の資料取

集と体系化

・地元団体等とデザイナーの交流と協働の場作り
・伝統工芸職人や地場産業の方々との交流等をすすめ、最終的にはデザイナーがタイアップできるデザインワークまで掘り起こしてゆく。

委員会をスケジュール化し、上記項目の研究と実行に結び行ける。今後、JID 活動の軸になるよう関東事業支部各委員会と連動しながら推進してゆく。

2：子供インテリアデザイン学校 ～食空間を考えよう～ 日本たばこ産業株式会社 (JT) の社会貢献活動助成金事業に応募。(申請中)

JT は「次世代の社会を担う青少年の育成のため地域と一体となって取り組む事業をサポートする」ということで助成金事業を行なっている。今回、JID として社会貢献およびデザインに関する普及・啓発に寄与できると考え申請しました。

JID50 学校委員会が実施した「子供デザイン学校」の事例を発展させ、＜食は体を育て住は心を育てる＞の考えに立ち、新たにデザインキットを開発し、都内の小学校の生徒を対象に、NPO や新 BOP との協働による“遊びながら学ぶデザイン教育”として取り組んでゆく。

当事業委員会は萩原多恵子(委員長)、小野上勝志(チームリーダー)、佐藤健一、櫻井良樹、藤本文明、石井静香、大槻圭子の 7 名で運営に当たっている。

2008 年度の活動は、各メンバーが、JID 創立 50 周年記念事業のプロジェクトに関わり、その活動に時間を費やすことが多く、当事業委員会としての活動らしいことはできなかった。

上記、2 プロジェクトは新たな取り組みとして 2009 年度スタートします。これからメンバーを募ってまいりますので、ご興味のある方は是非委員会に所属していただき、一緒に活動しませんか!!。ご連絡お待ちいたしております。

■関東事業支部 広報委員会

『50周年記念事業活動から広報活動へ』そして『求む! 新規広報委員』

広報委員会 委員長 石川 尚

関東広報委員会は昨年度から『広報』委員会と改名し、「JID 関東支部会員(正・賛助)全員のブランディング UP!」を目標に広報活動を行なっております。

とはいうものの、本年度の大半は JID 創立 50 周年記念事業の出版委員会に全員の活動をシフトし、昨年 10 月 24 日、記念出版『日本デザイン 50 年』を刊行することができました。(正直言って、膨大な編集作業だった為、

当分の間はJID活動から離れたい心境! ←委員全員)
また、年度当初に掲げた関東事業支部ホームページにおける個人ミニホームページ(各会員個人を紹介するページ)は、昨年5月25日付け無事オープンする運びとなり、当初からのお約束の無料全員表記スタイル(作品掲載はオプション費が必要)を実現しました。オープンできたことはひとえに会員皆様のご協力の賜物だと関東広報委員一同あらためて感謝しています。

早いものでこの会員ページも3月末で更新時期(1年更新制)を迎えます。あらためて更新手続きのお知らせをいたしますので作品掲載更新などご要望の方はよくお願いいたします。

今後は、新規オープンの個人ページ定期更新、ならびに賛助会員ページ、各委員会紹介をまいりますので、追加表記ならびに刷新要望ございましたら、関東広報お問合せ先【jidkthk@gmail.com】まで随時ご連絡ください。

さて、次年度の広報活動を委員会で検討しています。

●活動予定

1. ホームページ / コンテンツ構築 vol.2

「賛助会員」ページ構築

賛助会員の紹介→基本形(無料)+オプション(有料)
(会員ページ同様全賛助会員ページの表記)

「活動 Now」ページ構築

各委員会活動の紹介

「ライブラリー」ページ構築

JIDの50年史 / セミナー / 四方山話 / 出版などJID
プロダクツの紹介

2. 取材活動

取材+取材システムの構築

3. ライブラリー関東

四方山話データ化→DVD化ダイジェスト版化(HP表記)

JID出版表記+販売、今後の出版物企画検討

4. プレス

プレスリリース制作 / ビジュアルフォーマットの構築

メールマガジンの検討

上記内容につきましては、次号にて21年度活動方針(決定)をお知らせいたします。

●新規広報委員会委員のメンバーを募集します。

JID50周年記念事業も無事終了し、あらためて広報の重要性を痛感いたしました。JID 関東ホームページ・ホームページの内容を充実することにより、さらなるJID、JID 関東のブランド、会員&賛助会員全員のブランドを高めなければなりません。

ブランドを高めるということは、すべて協会・会員&賛助

会員に様々な形で還ってくることであります。割高な会員費もJID 関東ホームページによるブランディングの確立で相殺され、新たなるネットワーク・ビジネスチャンスの構築ができると言っても過言ではありません。

しかしながら当委員会ではまだまだ委員不足のため思うように活動できない状態です。

『JIDって実際何をしているの?…これからこんなコトやりたい!…』などJIDの疑問、提案、意見をお持ちの会員、賛助会員の皆さん、随時、新規広報委員の募集をいたしておりますので、何卒ご参加・ご協力ください。

関東広報委員会メンバー募集 お問合せ先は

【jidkthk@gmail.com】

なお、広報委員会では、委員会活動へのご意見ご要望もお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

○広報委員会メンバー

石川 尚 / 早乙女明子 / 中嶋 泉 / 菅野民子

安田 恵 / 櫻井良樹 / 小林雄二

■関東事業支部 国際・交流委員会 報告

国際・交流委員会 委員長 金杉 哲男

国際・交流委員会の来期活動は、工作職人とデザイナーとの協同制作を思案中で、同じ関東支部事業委員会も共に工作職人と協同制作事業を構想中により、この度国際・交流委員会と事業委員会の合同活動を実施する予定です。具体的には今後の両委員会協議により決定いたしますが、工作職人とデザイナーの協同活動をすることにより衰退気味の業界に活気ある活動、交流の糸口になればと思います。

Medical Amenity Support project 「からだところのデザイン」委員会発足

関東事業支部 研究委員会 委員長 長岡 貞夫

メダプロジェクトリーダー 小野 由記子

研究委員会では、2007年 Medical Amenity Support project(略称メダプロジェクト)を発足し、デザイナーと福祉・医療関係者との研究活動を開始しました。

その後、当プロジェクトを推進する上での理念や社会に対する効果的な情報発信について、模索してきましたが、研究内容や運営組織の基盤も整いましたので、次年21年度から名称も新たに「からだところのデザイン」委員会をスタートさせることとなりました。

「からだところのデザイン展(仮称)」イベント
3つのプログラムイメージ図



足早にやってくる「超高齢社会」キーワードは【ケア】です。住空間の設計やデザインはもとより、福祉・医療施設にも「福祉」「介護」「療養」など、暮らしといのちの安心安全への配慮が求められています。デザイン・建築設計・家具・インテリア・ライフプランなど、高齢者や在宅ケアを必要とする人たちの生活空間創造に、いま求められるのが「ケア発想」のデザインなのです。

しかし、現実には日本では「ケア・ハウス」(新型老人ホーム)「ケア・プラン」(介護サービス)は十分に整備されていません。近年、福祉・医療の専門家や機関の連携による「ケア・マネジメント」の動きも見られますが、これからは、生活空間の設計・デザインに携わるスペシャリストの積極的に参加したトータルなプロジェクトが期待されています。

以上のような時代背景のもとに、委員会ではまず手始めに「からだところのデザイン展(仮称)」を11月19日から24日までリビングデザインセンター OZONE(東京新宿)の会場で開催予定です。現在、イメージ図にそって実行プログラムを構築中ですので近いうちにイベントの詳細を皆様にお知らせできと思います。(文責:長岡)

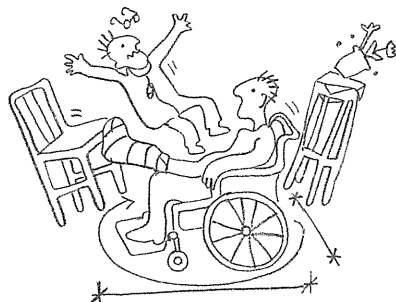


Illustration: 「Rooms for Care」 © オレ・アンダーソン著より抜粋

JIDNEWSKANSAI



「日本の空間デザイン2008」開催さる

関西事業支部 事業委員長 高瀬 守博

在阪のデザイン5団体実行委員会による「日本の空間デザイン展 2008」が、昨年12月13日から19日まで、ATCビル ITM 棟10階デザインギャラリーで開催されました。7日間の来場者は314名でした。

デザイン5団体 DDA (社)日本ディスプレイデザイン協会
JCD (社)日本商環境設計家協会
JID (社)日本インテリアデザイナー協会
OIS (社)大阪府インテリア設計士協会
SDA (社)日本サインデザイン協会

JID 関西では、JID 創立50周年記念催事PRパネルと「2008年 JID 賞ビエンナーレ」入賞作品パネル、と共に、JID 関西学生作品賞「課題: チェンジ(change)」に応募された5校31作品を展示しました。



写真手前が学生作品

学生作品賞は、学生—JID—社会(企業)を繋ぐパイプとして、また、作品と情報の交流を通じて、自己パフォーマンス及び造形力向上を意識付ける機会提供の場づくりとして、毎年「日本の空間デザイン展」のJIDブースで実施しています。

2008年度 JID関西学生作品賞・参加校

- 京都市立芸術大学
金賞: 稲積めぐみ 奨励賞: 石井敦士
- 大阪産業大学 銀賞: 伊田洋平
- 大阪成蹊大学
銅賞: 熊谷拓也 奨励賞: 土本淳史
- USD-O賞: 小泉佐希子

●飛騨国際工芸学園 奨励賞：矢島章重

●芦屋大学

今回は、12日の作品陳列後に清家審査委員長他4名の会員によって審査され、19日のJIDパーティにて入賞作品発表、表彰式が行われました。

合同国際委員会をお迎えして

関西事業支部 国際委員会 委員長 塚口 眞佐子



本部国際委員会がかねてから企画されていた、本部支部合同の国際委員会が2月3日関西にて開催されました。清家副理事長の事務所のサロンをお借りしての、お洒落でアットホームな雰囲気ながら、真摯な意見が飛び交う、中身の濃い貴重なひとときとなりました。

本部の小野理事や大森委員長、中部支部の大瀧委員長に加え、関西からは委員長以下全委員の出席、さらに清家副理事長、安藤支部長、プレス担当の八十委員長という陣容でした。関西メンバーが大半を占めるせいか、関西の委員各自の国際的取り組みのプレゼン（およびJID活動への拡大化の展望期待）のせいか、関西勢の元気さが期せずしてアピールされた結果となりましたが、小野理事や大森委員長の手綱さばきのあざやかさも、印象的でした。

何より、間接照明のもと膝を突き合わせての語り合いは、率直な本音や疑問、「IFIって何？」なども誘発します。この質問、おそらく新人会員だけのものではないのでは？というところから、さらなる国際委員会活動への理解と啓発が望まれる、と感想を持ちました。今後も開催支部を変えて継続されることを願います。

中国・四国インテリアデザイン交流会 広島で開催

関西事業支部 中四国委員会 委員長 大野 晃貴彦

日時：平成21年1月17日(土) AM10:00～PM12:30

場所：株式会社住宅デザイン研究所 会議室

テーマ：“語り合いの中から生まれる

日本のインテリアデザインのゆくえ”

出席者 10名

座長：小宮 容一

司会：大野 晃貴彦

幹事：小田 一美

岡茂 和良（一級建築士） 沖本 弘至（商業デザイナー）

小田 真理子（インテリアコーディネーター）

金堀 一郎（一級建築士） 金堀 建一（一級建築士）

黒田 明（一級建築士） 中川 圭子（一級建築士）

和やかな雰囲気の中、小宮氏の挨拶で始まりました。JID 50周年イベントの経緯やインテリアデザイナーの現状の報告がありました。今回10名の出席者があり、まず自己紹介をしていただきました。最初の岡茂氏が幼少からの生い立ちや仕事の経緯そして現代の仕事について語っていただきました。次の紹介者もそれに倣い自分史を語る内容となり、それぞれユニークな自己紹介となりました。

本題に入っていきますが、仕事歴20年～40年の方々が多く、それぞれに熱い思いを語っていただきました。広島で大学教授をされている金堀氏はエコ環境デザインの研究者でこれからのエコデザインの取り組みや大切さを語っていただきました。小田氏も内装業から現在はエコ事業の組合を立ち上げ、準備も整いつつあり、これから事業展開するとのことでした。女性デザイナーも2名の出席があり、特に中川氏は水の大切さと自身が水に関する事業をしていること。日本人として今の時代を生きているすばらしさについて熱く語っていただきました。全体的に環境デザインの話が多かったのですが、厳しい経済状況の中、デザイナーの役割や必要性についてもお話いただき中味濃い内容となり、時間も30分オーバーする充実した語らいとなりました。再会を約束して閉会となりました。

中部事業支部 創立50周年記念事業 中間報告会及び新年会

中部事業支部 副支部長 小林 修

JID 創立 50 周年記念事業中間報告会及び新年会
「堀内先輩と酒井理事長をお迎えして」

平成 21 年 1 月 13 日(火)

東京海上ビル地下 1 階 日本料理「荒木」にて

＜酒井理事長挨拶＞

酒井理事長は初対面の会員に向けて新理事長としての抱負を述べられ、記念事業の意義と会員が果たす役割について再認識する必要があるとし、今後の JID が迎える様々な問題と公益法人制度に関する取り組み



酒井理事長挨拶



長い間支部事務局を
守って頂いた中村さん

について会員相互の連携をより一層に深めると共に、広く意見を求める旨の挨拶となりました。

＜安藤理事報告＞

JID の歴史と共に活動をされてきた名誉会員である堀内啓二氏をお迎えし、先輩への労いと感謝の意を表し、安藤理事による記念事業のプロセスと成果が時系列に報告され、記念式典から出版物までの様々な事業に対し改めて再確認する機会となった。

＜小宮支部長挨拶＞

50 周年を迎えた歴史のエポックでの、堀内先輩への謝辞を述べられ新たな年度に向けての中部事業支部が継続すべき事業を行い新規事業企画に向け、支部会員と共に知恵を出しあう事が必要とされた。

JID中部学生賞のご報告

2008 年度 JID 中部学生賞を受賞された 4 作品をご紹介します。

中部事業支部 原田 朱美

●学校法人愛知産業大学 愛知産業大学

受賞者名：菊池 多江子(造形学部デザイン学科)

受賞作品タイトル：家族の触れ合いを育むための家具

●学校法人中西学園 名古屋学芸大学

受賞者名：小林 達也

(メディア造形学部デザイン学科環境空間デザイン)

受賞作品タイトル：「OKAUE Apartment」

なんとなくそこが庭になって、ここは道

●学校法人名古屋安達学園 専門学校名古屋デザイナー学院

受賞者名：佐藤 貴大

(建築デザイン学科 杉山住宅デザインゼミ)

石橋 隆太郎・西脇 利樹

(インテリアデザイン科 杉山住宅デザインゼミ)

受賞作品タイトル：「楽農」

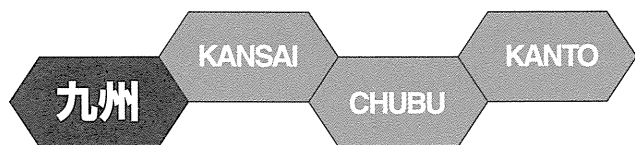
●学校法人同朋学園 名古屋造形芸術大学 短期大学部
受賞者名：説田 陽子(ビジュアルデザイン)

受賞作品タイトル：フェアトレード／キャンペーン企画

各学校それぞれの学科の特徴とか、表現の仕方など、同じく専門学校の非常勤講師として指導している立場から非常に興味深くかつ、勉強させられるなあ…との思いで見させていただきました。

いずれにしても、受賞者の学生の皆様、おめでとうございます。この春からは晴れて、いち社会人、いちデザイナーとしての出発ですが、賞を取るくらいに頑張った、そのチャレンジ精神を忘れずに頑張ってください。

＜作品はJID中部事業支部 HP でご覧ください＞



JIDNEWSKYUSHU

創立50周年記念事業 九州支部ファイナルイベント 第4回 学生ファニチャーデザイン コンテスト開催!

九州事業支部 支部長 飯田 一博

2008年のJID50周年行事も終盤に入り、九州支部の記念事業のファイナルイベントとして、第4回の「2009学生ファニチャーデザインコンテスト」を開催しました。2008年1月に第三回目がキックオフイベントとして、会場を福岡の天神のアクロス福岡一階のアトリウムにて、4大学、25作品、32名の学生が参加しましたが、今回は4大学、18作品、18名が参加してくれました。



会場は九州産業大学美術館3階のオープンギャラリーで1月19日(月)～23日(金)の5日間開催しました。23日(金)には作品の審査会と表彰式も含めたJID50周年事業「中間報告会」も開催しました。

審査会には賛助会員4名会員6名の10名の審査委員。審査委員長に、大川の関家具代表取締役の関文彦氏を選定して第一次審査に入りました。各自最優秀賞を1点、優秀賞を2点、奨励賞を3点の6点の候補者を選び、その結果を踏まえて2次審査を行いました。

最優秀賞の寒竹史絵さんの作品「Wave」が一番の成績でした。前回も最優秀賞をとっており、少し、彫刻的な扱い(一品制作)とその大きさに、デザインということでは少し問題がある?との提案もされましたが、そのフォルムの美しさと前回よりもパワーアップしている造形力に最優秀賞にと推薦されました。

優秀賞は松野憲道君の「SANDWICHES」。布地も自分で染色してクッションを制作。高さが変えられるクッションやテーブルいろんな使い方ができる提案に審査員も納得の作品でした。

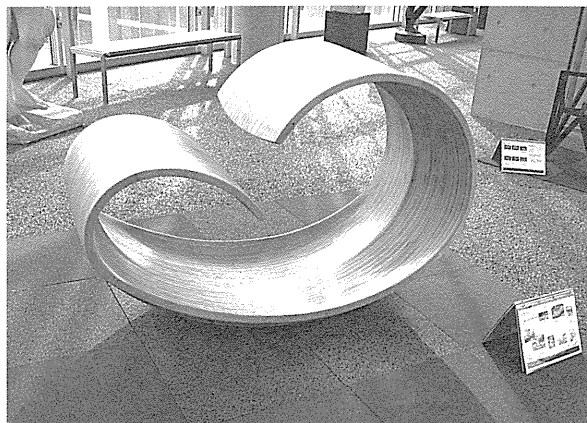
もう一つの優秀賞は弥永葉生さんの「LOVE BOAT」左右にゆれるラブチェアである。Uの字のフォルムにベルトを掛けるアイデア。二人で座ると中央に寄り添うように…若いデザイナーの作品である。夢がある。

奨励賞には3作品。一つは安武さんの「flower」花のツール。卍に組み立てるアイデアはおもしろい。

二つ目は山田君の「カミコ」紙コップからのアイデア。六角形の厚紙で作った物入れ、いやひっくり返すとツールになる。いらないときは重ねて紙コップのように…

おもしろい発想である。でも、もう一考あれば…。

三つ目が審査委員長ご推薦の、実際の販売にあった作品である河合辰哉君の作品「肘掛け椅子B」である。実際の授業の作品ではあるが、作品ABCDの内のBである。「実際の製品の小椅子に合った肘を付ける」という作品群である。夢ばかりではなく実際の社会に対応した作品も!とのご意見でした。

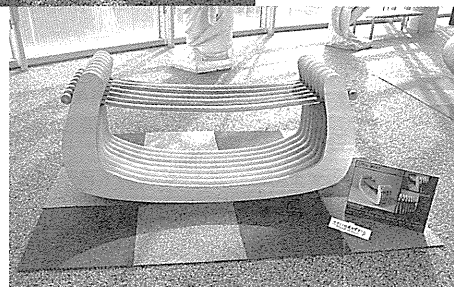


最優秀賞 寒竹史絵「Wave」



優秀賞 松野憲道
「SANDWICHES」

優秀賞 弥永葉生
「LOVE BOAT」



審査終了後にJID50周年記念事業中間報告会と表彰式を開催。芸術学部の教室に50名近い学生や一般の人も参加してくれました。その後は近くの宮崎の地鳥屋での賛助会員、会員、学生を交えての交流会の楽しい一時を過ごしました。

Message from Fresh-Power

中部事業支部 杉崎 章久

■あなたはJID（インテリア界でも可）に何を期待し、どのような協会にしたいですか？

建築協会には出来ない、インテリアデザイナーだから出来る協会。

■あなたのインテリアデザイナーとしてのビジョンは？

インテリアデザインを一言で言っても家具をデザインする外から内へのデザインの見方、空間をデザインする内から外へのデザインの見方の二つは同じ考えを共有するが、役割と感じ方が変わってきます。そしてそれをつつむ建築の外側からの見方、常にその二つの見方が繰り返し関連して響きあってひとつのイメージが出来上がります。そんな役割・感じ方を認識してひとつのデザインを創造して行きたい。テーマ「ここをデザインする」

■支部活動についてのお考えをお書き下さい。

会員数が減少して一人の負担が大きくなっているので会員数を増やしたい。

■JIDのどの委員会に参加し、何をしたいですか？

JIDの素晴らしい歴史を感じられるようにしたいです。

■その他JIDの改革やデザインにかかわることをご自由にお書き下さい。

年々会員が減少している現状で支部自体の努力が必要であるとは思いますが、私の場合は会社をやめて他に所属する会社はありません、私にとってJIDは私の仮想会社です。出来るだけ会議・事業には参加し仕事の相談もさせていただいています。

私の経験上、会社を辞めて独立する時が一番入会してもらうチャンスだと思います。

未来の不安を感じる若い方が魅力を感じて入りたくなる協会とは考えると「デザイン力、知識の向上・人とのつながり」は素晴らしいですが、「希望・仕事・そして経済力（お金）」に関することは薄いと思います。

何かそこでJIDに入る必然性はないかと「文芸美術国民健康保険組合」の資料を取り寄せて、計算して見たところ国民健康保険の方が安いので魅力がなかったです。

色々な面でJIDの素晴らしい歴史をつなげる必然性・特典を考えて行かないといけないと思います。

中部事業支部 原田 朱美

■あなたはJID（インテリア界でも可）に何を期待し、どのような協会にしたいですか？

JIDは、敷居も高いし、会費も高い…という印象があります。新規に会員にとお誘いしてもなかなか入会までには至りません。でもそれでは、JID自体が成立しなくなってしまう可能性があります。

もちろん、インテリア界のなかでも歴史があり（まさに50年）、品格もある協会ではありますが、次世代のデザイナーが入会してくれ、共に刺激し合い、成長してゆける会になっていって欲しいと希望しますし、何か手立てをしなければ…と感じます。

■あなたのインテリアデザイナーとしてのビジョンは？

まさに今、自分自身に問いかけている最中です。

未曾有の大不況といわれ、実際、取引先の破産を経験し、自分と自分の会社の方向性を今一度鑑みる時期にきていると実感しています。

ただ単に、デザイン業務をして、仕事が取れたの、ダメだったのと、一喜一憂しているだけではこの先、生き残ってはいけません。自分の得意分野または、伸ばして行きたいスキルに的を絞り、不得意分野は得意とする人とタイアップして今まで手をつけられなかった分野にも挑戦していきたいと思います。

■支部活動についてのお考えをお書き下さい。

中部事業支部は、会員数はそれほど多くはないですが、その分まとまっていると思います。

50周年の記念事業を終え、今後も充実した事業活動を企画していき、地理的になかなか交流できない、北陸部会の会員の皆さんとのコミュニケーションも更に深めていければ…と思います。

■JIDのどの委員会に参加し、何をしたいですか？

現在、中部事業支部の総務を担当させていただいています。担当は別として、他の事業支部の会員の方々とも積極的に交流できるといいと思います。

■その他JIDの改革やデザインにかかわることをご自由にお書き下さい。

デザイナーの仕事の傍ら、5年前からインテリアデザインの専門学校で非常勤講師をしています。年々入学してくる生徒が減少傾向にあります。もちろん、少子化の影響も大いにありますが、デザインを教育の中に早くから取り入れていないことが、興味を持たない分野になっている現状も確かなようです。

JIDの活動を通じて小学生のうちから、デザインが教科のひとつに入るカリキュラムにもらえるような働きかけが出来るといいなあと考えます。

原点

こころのデザイン



JID創立50周年記念事業

各委員会からのご報告

室内デザイン学校委員会

『放課後の家 インテリアを考える』遂に完成

こどもデザイン学校 富田 恵子



室内デザイン学校委員会の事業の一つである「こどもデザイン学校」については、着工までの様子をメールニュースでお知らせいたしましたが、昨年9月から全10回のカリキュラムを無事終了いたしました。

「放課後の家」をベースにしたこどもたちのデザインプレゼンテーションの結果、選ばれた2作品(内装部門・外装部門)を全員の手で具現化する作業は、私達委員の指導のもと第5～8回目でペンキを使い忠実に再現されました。調査をして色を作り出すことや、刷毛を使ったペインティングなど、皆初めての体験に汚れも気にせず生き生きと取り組んでいる姿がとても印象的でした。第8回目はカーテンとタイルカーペットの選定。それらを第9回目で取り付け、いよいよ迎えた最終回はお客様をお迎えしての「完成披露パーティー」です。

当日は世田谷区教育委員会の方々や、OZONEの林館長、そしてJIDの酒井理事長、川上実行委員長、日方関東事業支部長をお招きし、除幕式の後、大勢の大人が見守る中、一人ずつ参加した感想を述べました。その後、室内デザイン学校委員会からの記念品として、これまで記録として撮りためていたスナップ写真を一人一人にプレゼント。雑誌等のマスコミ取材にも元気に応え、和やかにパーティーは進行していきました。

会の終盤で、教育委員会教育改革担当 高山部長よりこの様な教育プログラムを企画・実施した我々とNPOの方達に感謝の言葉を頂き、達成感と共にJIDの公益性の高い活動と、当初からの「子供時代からインテリアを考えることの意義」についてご理解頂けたことを非常に嬉しく思いました。

ご多忙にも拘わらずご出席いただいた来賓の皆様と、ご協力いただいた方々に改めて御礼申し上げます。

パーティーを終えた生徒たちは、我先に完成した家へ潜り込み、寝転がる子、漫画を読みふける子、各々のスタイルで寛ぎ始めました。「居心地のよいスペースを作る」計画はまさに大成功!これから自分たちで決めた使い方のルールに則って、仲良く放課後の時間をここで過ごしていくことでしょう。今回の経験がよい思い出となり、将来きっと役に立つことを願いつつ…



みんなよく頑張りました!

JID創立50周年・特別寄稿

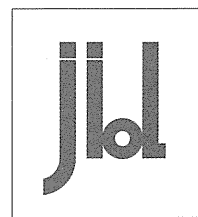
日本室内設計家協会の誕生

元・理事／前・事務局長 森谷 延周



はじめに：JIDの創立50周年記念事業は無事に終了した。私はこの間、折りにふれて「だれが提唱してこの協会が発足したか知っていますか?」と聞いたが、ほとんどの会員が知らなかった。という私も当時のすべてを知っているわけでもないが、50周年終了のこの機に、読んだり聞いたりしたことを基に記すことにした。もし誤りがあればご指摘頂きたい。

日本室内設計家協会(jid)誕生の気運

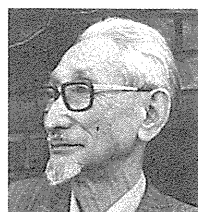


この名称は現在の(社)日本インテリアデザイナー協会(JID)の前身の呼称で、昭和33年(1958年)11月24日に任意団体として発足、ロゴマークはアルファベットの頭文字をアレンジしたものだった。

今から50数年前、デザインに関わる組織活動体をつくらうという大きな社会的気運があった。そんな中、昭和27年に日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)、昭和31年に日本デザイナークラフトマン協会(現・日本クラフトデザイン協会)がそれぞれ発足した。したがって私たちの協会は、日本デザイン団体協議会(通称:D-8)の中では3番目の発足である。

「室内設計家」という名称は、「建築設計家」に対して、専門的職能の独立を意識した名称だったと思われる。

その提唱者



まず始めに、豊口克平(写真上)の自著「夫婦 50 年」の年譜の一節を紹介する。(原文のまま)

—1958(昭和33)日本室内設計家協会(現 日本インテリアデザイナー協会)設立を中西三郎氏(写真下)とともに提唱、同年設立実現。昭和33~51まで理事(4年間理事長)—また豊口は、JIDの機関誌 No.110 号「JID 創立 30 年史」の一節の中で、発会前に隅田隆治・狩野雄一・

桜井定雄・大泉博一郎らの名前を上げながら、「親しい連中はみな賛成してくれて、話を始めて1年くらいで発会式にこぎつけました。剣持君はもちろん渡辺力君も集まってきましたね」(原文のまま)と語っている。

豊口は、この発足実現の翌年に、26年半在職した産業工芸試験所を退所、念願だった豊口デザイン研究所を設立し、フリーランスデザイナーの道を歩み始めた。

一方、中西は総合デザイン研究所を自営するかたわら、当時では珍しい専門月刊誌「ニューインテリア」の編集長を勤めながら自らも執筆に腕を振るった。そして研究所の中に、歴史ある「日本木材工芸学会」の事務局を置きながら、発足した協会の事務局を併設するなど、多面的な協力を惜しまない人だった。

発会に向けて

前述の2人を中心に、すでに応諾を得た人々の輪が広がって、発会に向けて28人の「設立発起人」が揃った。そして設立準備委員会が構成され、「定款」「会員規定」「入会への案内文」などを作成した。ちなみに定款第3条には、「本会は会員相互の協力により、室内デザイナーの社会的地位をまもり、生活文化ならびに産業経済の進展に役立たせようとするものである」(原文のまま)と記されている。発足への具体的準備を終え、設立発起人は手分けして入会を募る活動に入った。

<設立発起人>

岩瀬要三・宇佐美滝三郎・大泉博一郎・奥平貞俊・狩野雄一・倉林益太郎・剣持勇・坂田種男・桜井定雄・佐々木達三・白石浩二・鈴木富久治・玉田郁郎・豊口克平・中井太一郎・中西三郎・中村富夫・西海健彦・野口寿郎・藤森健次・松村勝男・水谷文平・水之江忠臣・宮内順治・森田良夫・山口勇次郎・渡辺安吉・渡辺力 (50音順)

設立総会の会場は東京・港区の「虎の門共済会館」、日時は昭和33年11月24日。議事には定款制定と役員選挙の件と記されている。なお、「会員規定」で正会員の入会金は1,000円、年会費は3,600円(月額300円)とした。

また、「会員名簿」も発足時に発行され、そこには役員一覧と79人の正会員が掲載されている。そして当時の13人の方々が、今なお健在で在籍されている。

正会員／泉修二・川上信二・白石勝彦・渡辺優
名誉会員／今井滋・古藤司郎・坂田種男・長大作・中村圭介・西澤圭三・武笠士郎・村尾平格・渡辺力

設立発起人の1人・坂田種男名誉会員



去る2月16日、設立発起人28人のうち、健在でしかも継続在籍の坂田種男名誉会員のお宅に私が訪問、当時のことを伺った。

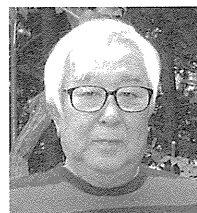
以下はその概要である。

「私は82才。体を考え少しずつ仕事を減らしている。発起人の話は狩野雄一さんから聞き即座に賛同した。当時、インテリアは建築の一部としてとらえられていた。そして会話では「インテリア」といっても、文章になると「室内」で、「定款」や「会員規定」も室内デザイン・室内デザイナーと書き表した。発会時の空気は、専門家としての職業意識・独立意識は強かったが、だからといって強く血気に満ち溢れたものではなかった。これからのJIDには、もっと社会的認知度を高めてほしいと願っている」

任意団体～現在

発足時の定款第2条「本会は本部を東京都に置き、主要な土地に支部を置くことができる」(原文のまま)を受けて、翌年(昭和34年)に大阪支部(会員49人)が発足した。その後、昭和39年に九州支部が発足し3支部制となった。そして昭和44年に法人格を取得、(社)日本インテリアデザイナー協会と改組、また認可と同時に支部を「事業支部」と改称した。さらに昭和46年に中部事業支部が発足し、現在の本部および4事業支部制によって運営されている。

協会のロゴマーク



発会から15年有余、協会のロゴマークにはいくつかの移り変わりがあったが、いずれも決定的なものではなかった。そして昭和49年頃、

理事会で刷新することが論議され、外部のデザイナー(高浦威／グラフィックデザイナー)にそのデザインを依頼した。その後3案の提示があり、理事会の意向によって全会員485名(社)を対象にアンケート調査を実施、回答数62%、120通を占めた現行のものが決定した。また同時に協会名の日本語・英字表記のデザインも決まり、現在、日常的に使われている。

事務局からの お知らせ

会員異動のお知らせ

※「会員名簿」該当ページをご訂正ください

◆正会員

会員番号0732 安藤 勢津子 会員名簿・関東p.2
・勤務先住所 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-27
変更 Fax:03-5689-3265

会員番号0986 石川 暢子 会員名簿・関東p.2
・勤務先住所 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-27
変更 Fax:03-5689-3265

会員番号0481 海老沢 宏 会員名簿・関東p.4
・E-mail変更 e-kouboinfo@e-koubou.co.jp

会員番号0850 道明 三千代 会員名簿・関東p.8
・勤務先変更 株式会社川島織物セルコン
青山プレゼンテーションルーム
〒107-0061 東京都港区北青山2-13-5
青山サンクレストビル5F
Tel:03-3403-0731/Fax:03-3403-0750

会員番号0672 樋浦 洋行 会員名簿・関東p.10
・勤務先住所 デザインオフィス クレアール
変更 〒179-0084 東京都練馬区氷川台4-1-20
パークサイドビルA-210
Tel:03-6913-0391/Fax:03-6913-0393
E-mail: h-hiura@create-associati.jp

会員番号0215 山岸 柁史 会員名簿・関東p.12
・E-mail変更 my-yamagishi@shirt.ocn.ne.jp

会員番号1169 原田 朱美 会員名簿・中部p.17
・勤務先住所 〒463-0034
変更 名古屋市守山区四軒家2-727-2
Tel:052-908-4128/Fax:052-908-2841
自宅住所:同上
Tel:052-908-2893/Fax:052-908-2841

会員番号0857 小田 一美 会員名簿・関西p.18
・勤務先住所変更 広島県福山市明神町2-14-29

会員番号1278 太良 隆宏 会員名簿・関西p.19
・FAX番号変更 Fax:075-321-7004

◆賛助会員

会員番号3157 柏木工株式会社 会員名簿・賛助p.24
・担当者、住所変更

担当者:代表取締役 関 道朗
〒506-8585 岐阜県高山市上岡本町1-260
Tel:0577-32-3150 / Fax:0577-34-7417
E-mail:info@kashiwa.gr.jp

会員番号3067 学校法人中央工学校中央実務専門学校 会員名簿・賛助p.25
・学校名変更 学校法人中央工学校OSAKA

会員番号3088 株式会社日建スペースデザイン 会員名簿・賛助p.26
・住所変更 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-27
Tel:03-5689-3264 / Fax:03-5689-3265

新会員 紹介 正会員

①会員名 ②会員番号(支部) ③推薦者
④勤務先・事務所 ⑤自宅



①藤井 真哉
ふじい しんや

②1291 (関東事業支部)
③中田 重克・峰尾 武

④atelier libero (アトリエ リベロ)
〒359-1151 埼玉県所沢市若狭2-1675-7
Tel:04-2938-5870/Fax:04-2938-5871
E-mail:info@atelier-libero.com

⑤同上



①白河部 勝美
しらかわべ かつみ

②1292 (関東事業支部)
③吉良 ヒロノブ・山岸 柁史

④株式会社リームズ
〒162-0061 東京都新宿区市谷柳町32 第二司ビル3階
Tel:03-5261-2005/Fax:03-5261-2006
E-mail:shirakawabe@rims-co.net
⑤〒115-0052 東京都北区赤羽北3-26-2-1302
Tel/Fax:03-5993-1613



①水澤 結花
みずさわ ゆか

②1293 (関東事業支部)

③峰尾 武・中田 重克

④〒248-0003 神奈川県鎌倉市浄明寺1-6-21

Tel: 0467-22-5340

E-mail: yukamjp@aol.com

⑤同上



①小久保 典子
こくぼ のりこ

②1294 (関東事業支部)

③日方 一城・安竹 麻智

④〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎1469-7

Tel: 0467-47-3936 / Fax: 0467-47-3930

E-mail: nori_kokubo@mac.com

⑤同上



①尾崎 めぐみ
おざき めぐみ

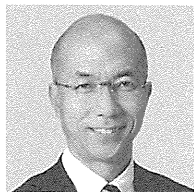
②1295 (関東事業支部)

③道明 三千代・井出 昭子

⑤〒332-0026 埼玉県川口市南町1-11-6-209

Tel: 048-254-1524

E-mail: ozakimegumi@cablenet.ne.jp



①岩下 純
いわした じゅん

②1296 (関東事業支部)

③鳥井 貴正・峰尾 武

④I・W・AGENT

〒164-0011 東京都中野区中央4-2-3-225

Tel: 03-3381-5539 / Fax: 03-3382-8274

⑤〒180-0021 東京都武蔵野市桜堤1-6-30

Tel / Fax: 0422-52-2107

E-mail: iwashita@viola.ocn.ne.jp

新会員 紹介 賛助会員

※賛助会員数64社(平成21年3月現在)

株式会社ソーケン

会員番号3207

〒135-0016 東京都江東区東陽2丁目2番20号

Tel: 03-5635-1226 / Fax: 03-5635-1225

担当者: 設計部 雁部 さち子

E-mail: ganbe@soken-net.co.jp

推薦者: 木村 戦太郎・小野 由記子

ITEA株式会社

会員番号3208

〒113-0034 東京都文京区湯島2-2-4 スワンビル8F

Tel: 03-5840-8983 / Fax: 03-5840-8984

担当者: 白井 秀治

E-mail: info@itea.jp

推薦者: 星 富士子・酒井 正人

株式会社マルニ木工

会員番号3209

〒738-0512 広島県広島市佐伯区湯来町白砂24番地

Tel: 0829-40-5108 / Fax: 0829-40-5138

担当者: 取締役 新規事業開発部 部長 山中 洋

E-mail: hyamanaka@maruni.com

推薦者: 菅野 民子

株式会社呼応

会員番号3210

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-7 汐留営和ビル4F

Tel: 03-5401-2303 / Fax: 03-5401-2505

担当者: 取締役 峯岸 孝司

E-mail: minegishi@cooh.co.jp

推薦者: 事務局

今後のご発展とJID活動でのご活躍を期待しています。

JID news

企画・編集：本部広報委員会

JID News 担当理事 安藤真吾

JID News 委員長 八十常充

// 特別委員 清家淳一

// 委員 小宮容一

// 関東事業支部 石川尚

// 中部事業支部 杉崎晃久

// 関西事業支部 山本紗代子

// 九州事業支部 下田隆

——あとかき——

本号が年度末号となります。平成 20 年度を振り返ると上期と下四半期の経済状況の落差に驚かざるを得ません。今、創立 50 周年記念事業が無事に終わろうとしていることは、会員の努力の成果であることは勿論ですが、サブプライム問題がもっと早く来ていたらと思うと幸運であったと言えるでしょう。遅かったお蔭で JID News も記念号を華やかに発行できました。

広報委員会では今期の始めに、理事長のトップコラムの掲載を、本号からは新たに「会員の声」を取り上げるなど新企画を盛り込みました。公益法人制度改正に伴い、JID 組織、運営の見直しが緊急課題となり、このような声の発言の場としての役割を果たしたい思いです。

財政難が予測されますが、常に進化する「JID News」でありたいと願っています。

各事業支部のホームページが、会員紹介や事業活動報告などを、即時性と公共性を持って充実しつつありますが、本部発行の会報「JID News」は組織への情報伝達と記録性を受け持っており、今後もこの二面性は持続したいと思います。

小宮 容一

□ 次号スケジュール

・編集(企画)会議 5月7日

・原稿締切日 5月末日(厳守お願いします)

・編集(校正)会議 6月16日

・発行日 6月末日

* member's SALON はみなさんからの投稿をお待ちしています。デザイン情報、ご意見、エッセイや地域での情報などをお寄せ下さい。

No.243

発行日：平成21年3月31日

編集デザイン：西尾直事務所
印刷：株式会社岡本印刷所